

【第2部】

大規模・広域災害における 情報共有と受援力

東日本大震災での
ボランティア活動に関して

災害ボランティアセンター (災害ボランティアを受け入れる組織)

災害ボランティアセンター

社会福祉協議会

民間ボランティア
団体

企業・生協

NPO法人



マッチング



ボランティア活動
(被災者ニーズ)

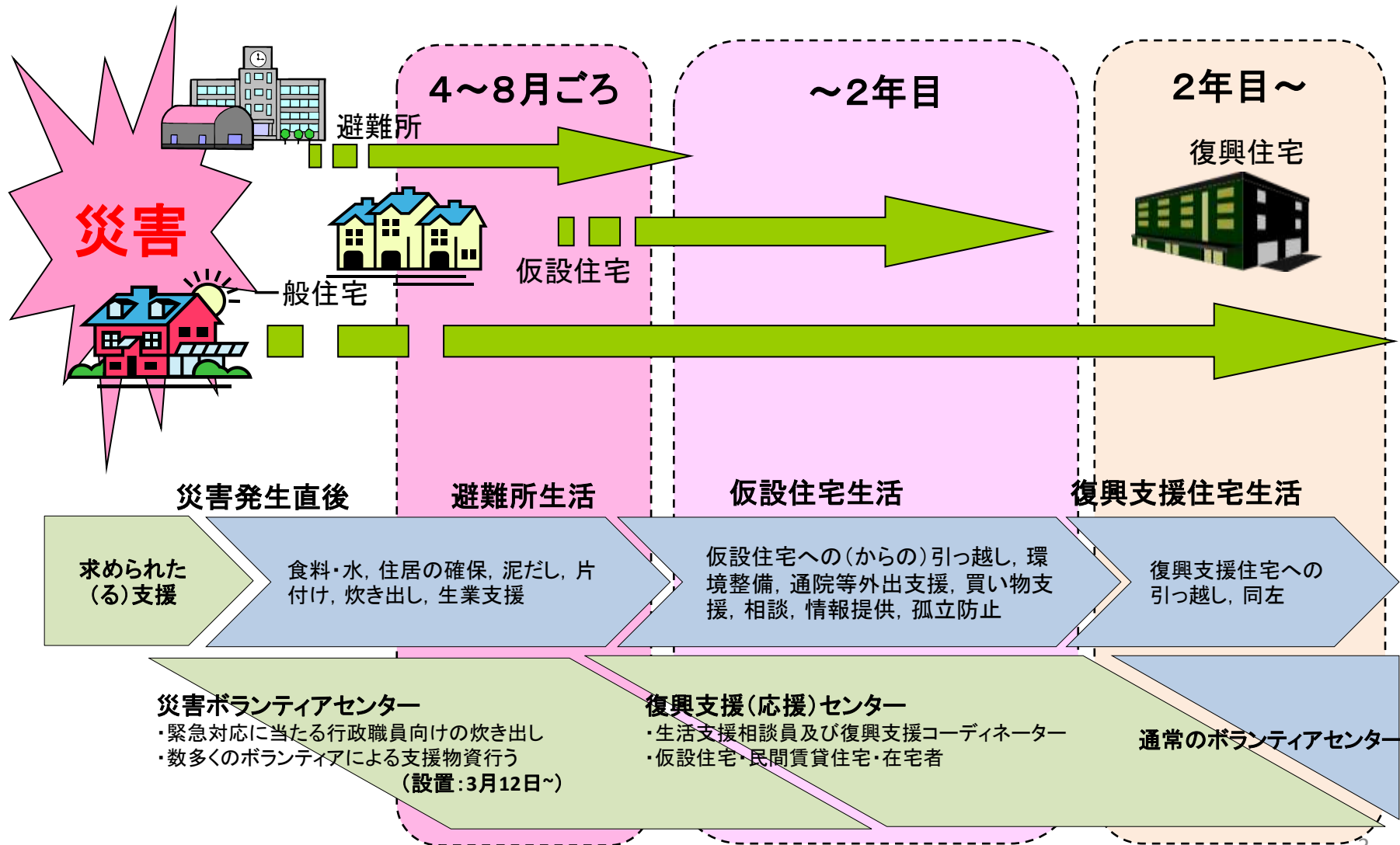
申込

ボランティア(個人・団体)



被災者の生活はようになる・・・？

(被災者の生活のフェーズと災害ボランティアセンター)



東日本大震災後 宮城県災害ボランティアセンター設置

1 根拠

大規模災害が発生した際、(社福)宮城県社会福祉協議会と特定非営利活動法人みやぎ災害救援ボランティアセンターは、宮城県が設置する災害対策本部との連携により、宮城県災害ボランティアセンターを設置・運営するものとする。(大規模災害時における県災害ボランティアセンターの設置・運営に関する覚書 平成16年3月31日)

2 役割

宮城県社会福祉協議会は、宮城県災害ボランティアセンターの設置・運営について責任を担い、被災時には、迅速にボランティアの受け入れ態勢と活動体制を整備するとともに、関係行政機関、市町村社会福祉協議会、日本赤十字社宮城県支部及びボランティア関係団体等との連携を密にして、被災地におけるボランティア活動が円滑、効果的かつ安全に行われるよう努める。

- (1) 宮城県災害ボランティアセンターの設置・運営
- (2) 市町村災害ボランティアセンターの体制整備の支援及び連絡・調整
- (3) 全国社会福祉協議会、他都道府県社会福祉協議会、県内市町村社会福祉協議会・日本赤十字社宮城県支部・NPO法人等ボランティア団体に対する応援要請及び受け入れ調整
- (4) 災害ボランティアコーディネーターの派遣・調整
- (5) 災害ボランティア関連情報の受発信
- (6) 災害ボランティア活動の苦情処理
- (7) 災害ボランティア活動保険の加入手続き
- (8) その他ボランティア・NPO法人の受け入れ態勢及び活動体制の整備に必要な事項

東日本大震災後 宮城県災害ボランティアセンター設置

※県災害VCの発災直後の主な取り組み

| 月日 | 項目 | 取り組み内容 |
|--------|--|---|
| 3月 11日 | ◆東日本大震災発生 ◆県社協災害対策本部の設置 | |
| 12日 | ◆県災害VCの開設(船形コロニー) ◆市町村災害VCの開設 | ○県社協職員35人体制で市町村社協等の被災状況調査と情報の収集 |
| 13日 | ◆災害V活動支援Pの支援 ◆県災害VCの移設(社会福社会館) ◆県災害VCの運営(14日～28日間) | ○県社協職員46人体制で市町村社協等の被災状況調査と情報の収集 ○職員1日平均67人体制で被災地市町村災害VCの支援として、専門ボランティアの派遣や資器材の調達、情報の発信等を行った。 |
| 18日 | ◆全国社協ブロック職員派遣開始 | ※職員派遣状況は別記 |
| 22日 | ◆市町村社協との災害VCの共有会議 | ○於:利府町社協 |
| 23日 | ◆県災害VC支援連絡会議 | ○12団体参加 |
| 27日 | ◆緊急小口資金の特例貸付の実施 | ○全市町村社協で実施 |
| 29日 | ◆県災害VCの移転(自治会館2F) ◆被災地災害VCへ運営支援職員の派遣要請 | ※協働型移行 ○市町村社協会長あて依頼 |
| 4月 16日 | ◆国へ被災者支援に係る要望提出 | ○VC活動の人材確保(国庫10/10) |

緊急救援期（災害VC開所期）

被災地の状況

- 1 避難生活
 - ・食料や生活物資の確保
 - ・避難場所の確保や避難生活の開始
 - ・家族や親類との緊急連絡
- 2 自治体
 - ・人命救助優先
 - ・住民の安否確認
 - ・避難所, 福祉避難所開設運営支援
 - ・食料, 水, 生活用品の確保
 - ・国, 県, 関係省庁, 自衛隊への応援要請
 - ・地域防災計画に基づく民間団体, 企業への協力要請 等

被災社協(VC)の状況

- ・災害VC設置や緊急対応の協議
 - ・災害VC場所の確保
 - ・災害VC事務用品の確保
 - ・災害VC運営費の確保
 - ・災害VC人材の確保
 - ・災害VC開設の周知
-
- ・自治体との連絡調整
 - ・地域内の支援者の応援要請
 - ・都道府県社協, 近隣社協との連絡調整
 - ・災害系NPOとの連携

支援者の動き

- ・災害VCに関わる様々な人々とのコンセンサスづくり
 - ・VC運営の基本ルール確立
 - ・被災者, 被災ニーズの把握
 - ・被災者とボランティアを繋ぐ仕組みづくり。コーディネーターの配置。
-
- ・移動, 運搬に必要な車両の確保。備品, 資機材の確保
 - ・活動資金確保のための連絡調整。
 - ・災害VCホームページ等情報発信の仕組みづくり。

緊急救援期（災害VC活動期）

被災地の状況

- 個別ニーズの高まり
- 危険家屋支援ニーズ
- 健康状態の低下や急変
- 入浴, 通院, 買い物等の生活支援の拡大
- 避難場所の環境改善
- 疲れやストレスの高まり
- 経済的困窮
- 移送, 移動支援の希望
- 学習支援, 保育支援
- ペット, 家畜の支援
- サービスの正常化
- 生活福祉資金(社協)
- 住民間, 支援者間のトラブル(人間関係)

被災社協(VC)の状況

- 災害VC運営の充実
- さまざまな被災者支援活動
- 介護, 医療ニーズへのサポート, 健康維持等
- 自治体との情報伝達, 支援活動についての協議
- 活動資機材の要請
- スタッフ, コーディネーターの要請, 調整
- 苦情解決
- 支援プログラム開発
- 被災地世帯調査やローラー作戦の実施
- 災害VC閉所検討と生活支援への移行

支援者の動き

- 協働型VCを目指した運営支援
- さまざまなニーズへの対応体制づくり
- 住民ニーズを拾い上げる方法の開発や潜在的ニーズへの対応
- 長期的視点に立った体制づくり, 連絡調整, 資金物資等の調達計画づくり
- 地元スタッフの疲労軽減

災害VCのプラットフォームの構築

(宮城県VCを中心にグループページを構築しVC間の情報共有)

公表中災害VC 最新情報

- 復興支援EGAOせんだいS S
- 石巻市災害VC
- 塩釜市災害VC
- 気仙沼市社会福祉協議会VC
- 気仙沼市社会福祉協議会VC本吉支所
- なとり復興支援Cひより
- 多賀城市社協復興えあいC
- 岩沼市復興支援Cスマイル
- 東松島市生活復興支援C
- 亘理ささえあいC「ほっと」
- やまもと復興応援C
- 七ヶ浜町災害VC
- 南三陸町災害VC



**宮城県災害・被災地社協等
復興支援 ボランティアセンター**

当センターは、市区町村災害ボランティアセンターの運営支援と
情報提供、及び被災地社協支援等を行う協働型の組織です。



2011
3.11

ONE FOR ALL
ALL for ONE

宮城県災害・被災地社協等復興支援ボランティアセンター

公表中災害VC 最新情報

- 復興支援EGAOせんだいS S
- 石巻市災害VC
- 塩釜市災害VC
- 気仙沼市社会福祉協議会VC
- 気仙沼市社会福祉協議会VC本吉支所
- なとり復興支援Cひより
- 多賀城市社協復興えあいC
- 岩沼市復興支援Cスマイル
- 東松島市生活復興支援C
- 亘理ささえあいC「ほっと」
- やまもと復興応援C
- 七ヶ浜町災害VC
- 南三陸町災害VC

協働団体(アイウエオ順)



協働団体活動日誌ページ

協働団体リンク

- ・ JANIC
- ・ Snow Peak

ボランティアの方へのお願い・重要なお知らせ

- 東日本大震災に伴う災害派遣等従事車両の取扱いの期間延長について〜3〜
3月05日 10時40分
- 被災地でボランティアを計画されている皆様の感染症予防について
1月27日 12時59分
- 国・県の被災者支援制度 最新情報がネット上で一本化されました。
1月18日 15時29分
- 各災害VC、復興支援C等の年末年始の休業日について
12月27日 9時12分
- ボランティア活動保険「大規模災害特例措置」の再々延長について
12月06日 16時43分

1 2 3 4 5 6 次へ 最後

助成金情報

- 丸紅基金
- 福祉医療機構 (WAM) 社会福祉振興助成事業

募集中!



ご活動いただいた個人・団体の方々の体験談を募集しています

※主体：311 まるごとアーカイブ

みやぎ復興つうしん



宮城県災害・被災地社協等復興支援VCの情報誌です

各災害VC 募集状況

◆各災害VC 募集状況◆

平成24年3月5日現在の状況です。
最新の状況及び詳細については、各市町村災害ボランティアセンターへご確認願います。

検索

高度な検索

0 事前の準備

- ・要援護者体制の整備
(名簿・マップ・運用)
- ・社協組織の危機管理体制整備
- ・災害VCの研修, 訓練など
- ・防災教育

1 発災直後

- ・要援護者の安否確認→避難誘導→避難所支援
- ・社協事務所の安全管理, 職員の案日確認
- ・市町内の被災状況や情勢把握
- ・災害ボランティア支援の必要性和災害VC立ち上げの判断, 協議
- ・ニーズ把握, 災害VC設置準備, 広報
- ・ボランティアの受入, マッチング, 送り出し

被災経験を活かした活動へ

3 復興期

- ・復興支援センター等の運営
- ・仮設住宅入居者の支援
- ・在宅被災者イベント等の企画
- ・地元支援機関・組織・団体などとの連携, 支援方策の共有
- ・復興住宅建設入居に伴う支援
- ・被災経験を伝承する活動, 子ども(若年層)への防災教育

2 復旧支援期

- ・災害VCの運営
- ・要援護者の支援(避難所・在宅)
- ・介護保険事業や作業所などの再開, 運営
- ・生活福祉資金による支援
- ・通常事業の継続判断
- ・他災害VCや支援拠点などとの連携
- ・仮設住宅入居に向けた支援と入居後の支援
- ・再ニーズ調査
- ・復興支援センターに向けての検討, 準備